

## 令和元年度 総括 現状と今後の課題・方向性

領域 1	教育理念 教育目的 教育目標
<p>カリキュラムにおける教育理念・教育目的・教育目標および卒業生の特性は、赤十字の理念である人道を基調とした赤十字教育の特徴を示している。入学説明会、保護者会、講師会議で理念等を説明し、理解を得ている。卒業時には教育目標の到達度を確認し、教育内容の見直しを行っている。設置医療施設の看護部との連携、新人看護職員研修委員会への参加を通して求められる看護師の能力を把握し、カリキュラムに反映させている。</p> <p>看護基礎教育のカリキュラムが改正になる。2021年10月に申請、2022年4月に運用開始になる。学生が主体的に学べる教育方法の推進や、「地域・在宅看護論」で対象者・療養の場の拡大をふまえた学習の強化、臨地実習の柔軟な設定などがもとめられている。現行カリキュラムを評価し、当校の強み・弱みを確認し、改正への準備をする。看護教育全般をとりまく状況の変化を把握しながら、ふさわしい教育について検討を続ける。</p>	
領域 2	学校運営
<p>赤十字看護専門学校としての理念、教育目標をふまえ、運営方針を決定している。それを教職員に周知し、確認・振り返りをしながら BSC と連動させて運営にあたっている。教職員の働きやすさ、新職員の適応しやすさをめざして、業務の見直し・改善、マニュアルの整備を継続する。教員の資質向上の取り組みとして看護教員キャリア開発ラダーの取得に向けた準備、個々の研鑽への支援を継続する。外来講師が、当校の教育目標をふまえた授業がしやすいように、意見を聞き、情報提供を行った。来年度も継続していく。</p> <p>情報管理システムでは、全学年に学習支援クラウドサービスを導入した。学習状況の把握をして、個別の学習指導につなげている。また、連絡網機能として活用している。学生の個人情報の管理は規定を設け、適正に扱っている。</p>	
領域 3	教育活動
<p>教育課程の編成・運営は日本赤十字社看護専門学校準則に則って行っている。教育到達レベルを明確にし、教育目的・目標に沿った教育課程を編成して実施している。学生の意見を反映し、効果的な教育を行うため、授業評価を実施し、評価結果を授業改善に活用している。設置医療施設の新人看護職員の成長過程について情報を共有し、教育内容に反映させている。来年度は現行カリキュラムの評価をもとに、新カリキュラム作成を開始する。また、キャリア教育に関して実施してはいるものの、3年間の体系化した指導計画がない。計画を明確にして、卒業後も自己研鑽が続けられるような力の開発を目指す。</p> <p>学力の向上につながる教育活動のため、3つのプロジェクト（基礎学力強化・看護過程・授業評価）の活動を継続している。学習支援クラウドサービスを活用し、学年ごと必要な学習の強化を図った。看護過程に関しては、実習病棟の短期入院化に適応でき、より思考の整理がしやすい内容になるように変更した。臨床で求められる看護診断、臨床推論の土台になるような思考の方法を検討していく。実習では、臨地実習施設と連携し、支援体制を整え、学生の成長を促進している。授業評価で得た内容はリフレクションに活かし、授業内容の改善につなげている。</p> <p>成績評価・単位認定に関しては、評価・認定基準を明確にし、適切に運用している。国家試験合格にむけて指導体制を整え、今年度も合格率 100%につながった。</p> <p>教員の教育力向上に関しては、看護研究について定期的に学習会を設け、その成果を学会で発表し</p>	

ている。専門領域学会への参加、研修への参加、自己研鑽も継続している。

**教員の組織体制**は整備されている。引き続き設置医療施設と協議し計画的に育成・配置していく。随時役割交代等もすすめ、教師のキャリアアップ、教育活動の活性化を図る。

#### 領域4 学修成果

設置医療施設への就職率の目標値は、設置医療施設と検討して決定している。看護部就職説明会を開催し、設置医療施設への就職率の向上に努めている。また、学生の適性や希望にあわせた就職決定の相談に応じている。国家試験合格率 **100%**をめざし、全国公開模試、国家試験対策試験、実習期間中の専門分野に関する学習会、担任による個別の学習指導を実施し、成果につながった。

卒業生に関しては設置医療施設への就職者を中心として教育担当者との情報交換や調査ができるような体制を整えている。

#### 領域5 学生支援

**就職・進学等卒業後の進路**については、担任が中心となり副学校長、教務主任と共に、各学年のサポートを行っている。就職候補病院のインターンシップについては、個々の希望に合わせた進路につながるように情報を提供している。

**休学・退学率の低減**に向けて、学生の悩み相談には、担任が個別に対応している。指導内容は、プライバシーに配慮しながら必要な情報を共有し、教職員全員でサポートするなど、効果的な指導につなげている。心理相談室の利用など相談体制は整っている。

**学生の経済面に関する支援体制**は、授業料をおさえて設定しており、各種の奨学金制度も準備している。社会人入学生に対しては、教育訓練給付金制度を紹介し支援を行っている。経済的支援を必要とする学生が増えている。返済までを見据えて、奨学金を適切に利用できるように指導している。来年度から高等教育の無償化の制度を利用できるように申請をした。

**学生の健康管理**は、健康管理規定に基づき実施している。設置医療施設医師が学校医であり、必要時学生の健康維持について相談できるようになっている。また、健康自己管理ができるように指導し、問題のある学生には個別に対応している。

**学生寮**には舎監を配置し、寮管理・生活指導を行っている。寮規約・寮会則に基づき運営している。学生の要望に合わせて環境を改善したり、相談事にも個別に対応している。

**保護者との連携**については、保護者会を開催し、学校の状況・学生の様子について情報を提供し、教育活動について理解いただき、意見をいただく場としている。アンケートも年に1回実施いただいた意見は、学校運営に反映させている。希望する保護者には学校参観を通して、学びの様子を見ていただいている。適宜、個別面接にも対応している。学習や生活面等で課題のある学生については、必要時連絡を取り保護者と相談しながら支援にあたっている。

**卒業生**に対しては、図書室等施設の提供、教育実習の受け入れ、看護研究に対する助言、希望があれば個別の相談を受けるなど、キャリアアップへの協力を行っている。

**社会人入学生**に対しては、個々のキャリア背景を尊重し、履修科目の認定、学校生活への適応や学習が促進されるように支援している。

#### 領域6 教育環境

施設・設備・機器類は、設置基準に従って整えている。施設そのものは老朽化が進んでいるが、計画的に改修・補修工事を行っている。バリアフリー化には着手ができない状態である。耐震化には対応し、設備の点検も定期的に行っている。学校、寮ともにW i F i環境を整え、スマートフォンを学習に活用しやすくした。

防災に関しては、消防設備の法令点検、防災訓練は欠かさず行っている。防犯に関しても業者に委託し管理を徹底、インターネット環境の定期的なセキュリティチェックなど安全管理体制を整えている。

学校安全計画に基づき、安全対策を実施している。今年度は赤十字看護専門学校共通の災害時等事業継続計画（BCP）が完成した。それをもとに机上シミュレーションを行い、共通理解と当校の地域特性をふまえた内容の課題抽出を行った。県内での台風災害、世界的感染症の流行など、教育の継続に影響を及ぼす事態も増えてきている。課題の対応策を考え、学生、教職員の安全を守り、学習に支障なく学校生活を送れるように環境を整える。

#### 領域7 学生の募集と受け入れ

高校への進路指導（高校教員向けも含む）、対象者別や内容を変えたオープンスクールなどの募集活動を行っている。学校案内、ホームページも随時見直し、当校の魅力・新しい情報の発信に努めている。入学試験は指定校推薦、社会人入試、一般入試を行い、入学生を確保している。

過去のデータの分析から学生募集をしているが、18歳人口の減少が影響し、応募人数は減少傾向である。特別選抜の見直し、委託生の積極的な受け入れを考えていく。また、学生寮は遠方からの入学生にとっては経済的負担も少なく集団生活の利点もあり、当校を選択する理由にもなっている。しかし老朽化が進み、令和4年度をもって閉寮することを決定した。今後、寮に代わる生活環境の提供を検討し、生活面でも安心して学べるようにしていく。

#### 領域8 財務

設置医療施設と相談し、予算の執行計画に基づいて学校運営を行っている。学校の財務は設置医療施設の財務状況の影響を受けるため、予算の執行にあたっては病院の管財課に報告しチェックを受け、適正に運用している。また、設置医療施設の規程に基づき会計監査を受ける体制が整っている。

学校運営に関する適切なコスト管理に向けて、コストの見える化に少しずつ取り組んでいる。不必要なコピーの削減、時間外勤務の短縮などに努めている。今年度、消費税の増税、寮の改修費の増加などの状況から委託養成費を見直した。来年度は学納金についても検討が必要である。

#### 領域9 法令等の遵守

適切な学校運営をめざして、関係法令及び設置基準に基づき、規則・規定の整備、諸届の提出を行っている。日本赤十字社のハラスメント防止ハンドブックを基盤にハラスメントの防止に努めている。

個人情報保護に関しては、取扱い規定を定めて、学生・保護者にも理解を得て運用している。また設置医療施設の個人情報管理委員会にも参加し、現状を把握し、適切に情報管理ができるように学生の指導にあたっている。

学校評価は、赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン（H27改訂）に基づき毎年実施している。学校関係者評価委員会で最終検討し、結果を学校HP、広報に公表している。評価により明らかになった課題に関しては、次年度の学校運営目標と具体策に反映させて改善に努めている。

教育情報の公開に関しては、学校HP、学校広報誌クロスハート、病院HPに学校の活動を掲載し、学生・保護者・関連業界等に見ていただけるようにしている。

#### 領域10 社会貢献・地域貢献

赤十字青年奉仕団、思春期ピアカウンセラー（諏訪市）、アダプトプログラム（諏訪市）は年間を通して活動している。設置医療施設のボランティアや地域から要請のあったボランティアで学生は活躍している。「看護の日」、「病院祭」、「よいてこ祭り（諏訪市夏祭り）」、「とも育ち教室（城南小学校キャ

リア教育)」などは、学生が地域との交流をはかり社会貢献を経験する場となっている。予算を確保し、学生のボランティア活動を支援している。

地域で要請のある研修（赤十字救急法、幼児安全法、看護協会研修、キッズジョブパークなど）への学校職員の講師派遣の機会も増えた。今後も要請に合わせた活動を継続する。

#### 領域 11 国際交流

教育理念・教育目標に国際的視野を広げる必要性を示し、授業を行っている。設置医療施設、卒業生の協力を得て国際活動に関する講演会・交流会を毎年行っている。学生の国際的視野を広げ、関心が高まるように努めている。

海外での学習、就労を希望する学生、卒業生からの書類発行などの希望に対応している。

### 令和2年度 学校運営目標と活動強化視点

1. 効果的な教育方法の検討及び実践
  - 1) 基礎学力強化プロジェクト（学習支援クラウドサービス活用対策・国家試験対策）
  - 2) 看護過程教授の検討プロジェクト
  - 3) 外来講師授業支援プロジェクト
  - 4) 新カリキュラム構築プロジェクト
2. 教員の教育力の向上
  - 1) 看護教員キャリア開発ラダー取得促進
3. 安定した学校運営に向けての整備
  - 1) 働き方改革の方針に基づいた業務改善
  - 2) 本校の事業継続計画（BCP）の検証と運用
4. 学校の方向性の検討
  - 1) 本校を取り巻く看護師養成の現状の把握と分析
  - 2) 1) をふまえた本校の将来構想の検討